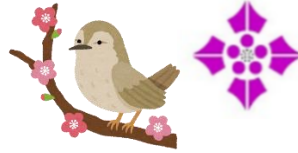


# 2年学年通信 2月号

石川県立金沢錦丘高等学校



## 飛躍の年にしましょう!

新しい年を迎えてから約1ヶ月経ちました。年明け早々の地震に衝撃を受けた人も多いことと思います。1日も早い復旧・復興をお祈りし、皆さんが平穏な日々を送ることができるよう念じてやみません。

2024年1月13日、14日には全国の3年生および過年度生が大学入学共通テストに挑みました。緊張と不安の中でも、先輩方は全力で受験しました。そして次はみなさんの番です。共通テストまで1年を切った今、何ができようになっているか、何をしなければならないかを一度考えてみましょう。また、2月2日3日には全統共通テスト模試があり、16日からは学年末試験が始まります。見通しをもって、計画的に取り組みましょう。また、2月の終わりから3月にかけては、比較的ゆとりがあるので自分なりの学習に取り組む時間が十分確保できるかと思えます。4月からを充実させるために、着実に歩みを進めていきましょう。気持ちを入れ替えただけで実践を伴わないのはもったいないですよ。

「腰を下ろして休むことは、絶対にすすめられない (スティーブ・ジョブズ)」

## 2月～3月上旬の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
			1 50分	2 全統共通テスト模試①	3 全統共通テスト模試②	4
5 50分	6 50分 2年課題研究最終発表(5~7限)	7 50分	8 50分	9 50分	10	11 建国記念の日
12 振替休日	13 50分	14 50分 生徒会役員立候補受付	15 50分	16 学年末試験①	17	18
19 学年末試験②	20 学年末試験③	21 学年末試験④	22 学年末試験⑤ 学年集会	23 天皇誕生日	24	25 国公立前期試験
26	27 個人写真撮影	28	29 卒業式準備(午前) 卒業式予行(午後)	3/1 卒業式	2	3
4	5 1,2限授業 3,4限準備 5~7限カット	6 学力検査	7 学力検査 校地内立入禁止	8 振替休日	9	10

## 1年後の共通テストを見据えて

2月2日(金)放課後と3日(土)で河合塾の全統共通テスト模試を実施します。共通テストの形式を模した初めてのテストです。長時間にわたりますが、自己採点までしっかりと行うことが大切です。これまでの学習成果を生かし、積極的にチャレンジしましょう。

◎全統共通テスト高2模試

日	時間	分	教科		
2日 (金)	14:45~15:55	70	数学①		
	16:05~17:35	90	国語		
3日 (土)	8:25~9:25	60	文系	地歴	
			理系	理科I科目目	
	座って静かに待つ(5分)				
	9:30~10:30	60	文系	公民	
			理系	理科2科目目	
	10:40~11:40	60	文系	理科	
			理系	地歴	
	11:40~12:20	60	昼食		
	12:20~13:30	70	数学②		
	13:40~15:00	80	英語(リーディング)		
15:10~15:40	30	英語(リスニング)			
15:50~16:50	60	情報I			
16:50~17:30	40	自己採点			

### 共通テスト模試の確認・注意点

- ☑ 3日の1限目と2限目の間の5分間は休み時間ではありません。
- ☑ 自己採点を確実にを行うために、必ず問題用紙の選んだ番号に印を付けましょう。そして、
  - こまめにマークシートに写す
  - × 最後にまとめて写す
- ☑ 集中して正確に自己採点を行いましょ。共通テスト本番では自己採点だけが頼りとなるので、正しく採点することは必須です。◎ 電卓

## 1年間の総仕上げ

日々の学習の取り組み状況を一度確認してみましょう。課題や小テスト、朝学習といった学習活動に真摯に取り組んでいるでしょうか。1年後に自信を持って受験に臨むためには、先を見据え逆算して考える「計画力」と、学習を切らすことなく行う「継続力」、そして迷わず行動にうつす「実践力」が必要です。

2月16日から2年生最後の定期試験が始まります。科目も多く範囲も広いため、早め早めに準備を進めましょう。そして、来年度の飛躍につなげるためにも、努力を惜しまないようにしましょう。お互いに具体的な目標点を決め、競い合うのも良いですね。

## 今月のおススメの一冊 『スマホ断ち 30日でスマホ依存から抜け出す方法』



学年通信1月号で板谷先生によるおススメの一冊の紹介がありましたので、2月号も続けて「今月の一冊」を紹介したいと思います。タイトルを見て、ドキッとする人がいるかもしれません。

著者のキャサリン・プライスさんは、ニューヨーク・タイムズ紙やワシントン・ポスト・マガジンなどで活躍している方です。この本は参加者を募り「スマホ断ち」を開発・実践したプログラムを紹介したもので、具体的なスマホの機能を取り上げながら、無理なく脳の本来の力を取り戻す方法について書かれています。「スマホを触っていて気づけば1時間経っている」「友だちと会話しながら無意識のうちにスマホを触ってしまう」など、思い当たるふしのある人は一度この本を手にとってみてはどうでしょうか。